

成長の季節

梅雨に入り、たっぷりの雨を受けて校内の植物がぐんぐん成長しています。1年生が植えた朝顔。つるが上へ上へと伸びて、支柱をつかもうとしています。2年生が植えたミニトマトは、おいしそうに赤く色づきはじめています。ゴーヤも上へ上へとつるを伸ばしています。そういう時に浮かぶ詩があります。



どんどん大きくなって実を付けだしたミニトマト

かぼちゃのつるが
原田 直友
かぼちゃのつるが
はい上がり
葉をひろげ
葉をひろげ
はい上がり
葉をひろげ
細い先は
竹をしっかりとぎぎって
屋根の上に
はい上がり
短くなった竹の上に
はい上がり
ちいさなその先たんは
いっせいに
赤子のような手を開いて
ああ 今
空をつかもうとしている



2階にまで上ったゴーヤ

子供達も今、まさに成長の季節だと思います。これまでの日常とは違う学校生活の中ではありますが、現実をしっかりと受け止めて、自分を伸ばそうと頑張っているのです。……「ちいさなその先たんは いっせいに 赤子のような手を開いて ああ 今 空をつかもうとしている」……

まだ子供達の手はちっちゃいけれど、しっかりと伸ばしながら、そして手探りながら、自分の未来をつかもうとしているように思えてなりません。



支柱をしっかり握って上っていく朝顔



今できることに一生懸命取り組む子供達